

道徳の勉強会報告 4

2014.11.10

愛知淑徳大学非常勤講師 柴田八重子先生を招いて学んだこと

テーマ 成長実感を大切にする道徳授業

1 道徳の教科化に向けて

- ・ 道徳の授業は今までと何ら変わらない。
- ・ 要録や通知表に悪いことしか書けなかった子によりことが書ける可能性がある。一番成績が悪い子、行いでみんなから嫌がられている子、そういう子が先生になれるのが道徳の時間である。
- ・ 道徳の学習指導要領解説書を全職員一冊ずつ購入してもらいたい。

2 道徳の授業における心構え

(1) 聴くことについて

- ・ 自分と質問する覚悟で
- ・ 「変だな」「自分とちょっと」を大切に！
- ・ 「まちがい」は言わず、「質問」に！
- ・ 話す人の方を見て！

(2) 話すことについて

- ・ 自分に質問し、自分に答えるつもりを言葉を声に！
- ・ 言葉の奥の心を感じ取る。
- ・ サービスで話してあげるという気持ち

(3) 授業者の心構え

- ・ 発言を聴き分けながら聴く。
- ・ 「ハイ」という声はいらない。思考のじゃまになる。静かに立って発言させる。
- ・ 意見を集約する時は、全員立たせて同じ意見だったら座らせていく等の工夫を！

3 よいところが見えてくる道徳授業に

うちのお父さん日曜日はゴロゴロしている。お母さんは口うるさい。家族みんな適当に扱おうとしている。でもお母さん。家族がピンチのとき全力で守ってくれる。

↓

よいことが道徳の時間だと想像できる。それが道徳のよさ

4 よいところが見えてくる道徳授業 ～例えばこんな授業～

< 甚目寺小職員を対象にした模擬授業 > T…先生、S…生徒

T：自分にとって家族は色で言ったら何色ですか？

S 1：黄色です。

S 2：オレンジ色です。

S 3：緑色です。

S 4：うすいピンク色です。

S 5：青色です。

S 6：白色です。

— 略 —

T：どうしてこの色を想像しましたか？

S 3：緑色は、外でザワザワした心で帰ってきた時に沈めてくれる色。平和の象徴。子供は葉っぱをつけていくイメージ。

S 4：うすいピンク色は落ち着く色。家族はその色。

S 5：青色は自分が好きな色。青を見ると集中する。家族で落ち着ける。

S 6：白は画用紙を思い浮かべていろいろ絵が描ける。もう既に描いている。いろんなことができる場所。

T：聴いてみてみなさんどうでしたか？

S：緑や白は結婚された方の意見でいいなあと思いました。

T：いいよね。拍手してください。

S：緑は自分のお子さんをイメージするなんて。守る者がいていいなあと思いました。

S：ピンク。愛あふれる感じがした。もう少しラブラブでいきたいなあと思いました。

T：一人一人の発言が、集団のために、みんなのためになったじゃん。いいと言ってくれるだけで役に立ったと思う。こんな感覚の道徳。成長実感を大切にする道徳。全部の子どもにもたせてあげたい。苦しんでいる子ほど、もたせてあげたい。

5 一つの発問で深く話し合う→発問の厳選

< 甚目寺小職員を対象にした模擬授業 > T…先生、S…生徒

脳性麻痺の通称「ガクちゃん」は、歩くのもヨタヨタ。話すのも聞き取りにくい。書くのもマス目からはみ出してしまう。そんなガクちゃんなんだけど、いつも明るく前向き。例えば、運動会の徒競走は進んで出場する。訳は、「徒競走はたくさんの方がぼくの走っている姿を見て、障害のあるぼくの気持ちを考えてもらう機会になるから」と考える。

でも今年は運動会にクラス対抗全員リレーが作られることが分かった。さすがにガクちゃん。「全員リレーは、僕が走らない方がクラスの順位は上がる。みんな勝ちたいたらから見学の方がいいのかなあ」と悩む。練習が始まるとやはりビリ。「あの全員リレーの時、僕は見学しようと思います」

T : みなさんはそんな時、どんなことを言いますか？

S 1 : ガクちゃん考え直して！ 1人

T : なるほど

S 2 : 全員リレーみんなで走りたい。 多数

T : これはみんな多いね

S 3 : 私は走るのが苦手。私はがんばるからガクちゃんもがんばって 1人

T : いいなあ

S 4 : 自分たちの優勝意識をみんなで考え直そう！ 1人

T : いいこと言ってくれたね。

S 5 : ガクちゃんの本心をみんなで考えたい 1人

T : すごいですねえ

S 6 : ぼくが補ってあげる 1人

T : カッコいいねえ

T : その後の続きを話します。「ガクちゃんが足の遅いのは分かりきってるよ。だから、クラスで優勝するための作戦をみんなで考えよう」運動会当日、クラス全員が朝早く集まり作戦会議を開いた。「ガクちゃんは四番目に走れ。前の三人はクラスで足の速い人が走る。二位と半周以上の差をつけてバトンを渡すから、あとは思い切り走れ」・・・実際はその通りになった。でもガクちゃんが走った後は六位、つまり最下位になっていた。その後クラスは、一人越し二人越しと最後は一位で優勝してしまった。ガクちゃんという存在のおかげでクラス全員貴重な経験をした瞬間だった。

<道徳の授業のポイント>

- ・ 理解じゃなく実感させること。そのために全員に考えさせる。
- ・ 多数の意見が正解ではない。少数の意見が考えの幅を広げる貴重な意見。つまり、異質な他から学ぶのが道徳である。
- ・ 一つの発問で深く話し合うことの大切さ。発問は厳選したい。

